

令和3年度 第3回日本科学教育学会研究会(北陸甲信越支部開催)プログラム

[テーマ] ポストコロナに向けた科学教育の研究はどうあればいいか

[日時] 令和4年3月6日(日) 9:00～12:00

[会場] 上越教育大学オンライン開催(試行)

[日程]

8:30～9:00 受付

9:00～9:10 開会(支部長挨拶, 諸注意など)

9:10～11:40 研究発表(休憩を含む)

12:00 終了

座長 大門 祥

A01 9:10-9:30 振り返り記述に対する他者からのコメントに関する事例的研究—ICTを活用した実践を通して—

○芳賀 竜一(上越教育大学教職大学院)・桐生 徹(上越教育大学)

A02 9:30-9:50 観察・実験における教師の指示に対する意識と実際の指示内容の関連についての考察

○福榎 友一朗(上越教育大学教職大学院)・桐生 徹(上越教育大学)

A03 9:50-10:10 経路プログラミングを用いた左右識別能力の育成に関する研究

○若林 亮一(柏崎市立剣野小学校)・桐生 徹(上越教育大学)

A04 10:10-10:30 「参観時の行為」のカテゴリー作成～KJ法の分析を通して～

○菅家 佑介(小千谷市立小千谷中学校)・桐生 徹(上越教育大学)

10:30-10:40 休憩

座長 若林 亮一

A05 10:40-11:00 指導者の実践的知識を非言語・同期・遠隔で習得する研修システムの構築と評価

○大門 祥(上越市立城西中学校)・桐生 徹・水落 芳明・榎原 範久(上越教育大学)

A06 11:00-11:20 幼少期の自然体験が理科学習への態度に及ぼす影響

○中村 大輝・松浦 拓也(広島大学)

A07 11:20-11:40 理科が「完全で調和のある人格」を育むことに対する理科教員の意識

○吉岡 亮衛(国立教育政策研究所)

座長 長谷 一弘

B01 9:10-9:30 中学校第2学年における証明を批判的に評価・改善する活動の実践 GIGAスクール端末による証明の共同編集機能を利用して

○柴田 吉規(島根大学大学院教育学研究科)・御園 真史(島根大学学術研究院教育学系)

- B02 9:30-9:50 中学校第1学年「正の数と負の数の四則計算」の指導を見据えた小学校第6学年を対象とした加法の図的表現に関する調査
○原田 菜月(島根大学教育学部)・御園 真史(島根大学学術研究院教育学系)
- B03 9:50-10:10 数学的モデリングにおけるメタ地域教材の開発とローカライズした教材を用いた実践
○御園 真史(島根大学学術研究院教育学系)・高梨 結衣(島根大学教育学部)
- B04 10:10-10:30 探究可能な問いを生成するための思考ツールの開発と評価
○岸 亮(見附市立田井小学校, 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所)・藤本 義博(岡山理科大学)・榊原 範久・水落 芳明(上越教育大学)

10:30-10:40 休憩

座長 岸 亮

- B05 10:40-11:00 コンピテンシーの育成を目指した理科の学習方略－構成因子とその因果関係－
○五十嵐 洋貴(上越教育大学大学院)・増田 美次郎(帯広市立大空中学校)・古屋 光一(上越教育大学)
- B06 11:00-11:20 学習者の「科学の本質」に関する調査問題の開発－中学生と大学生の実態把握－
○長谷 一弘(上越教育大学大学院)・古屋 光一(上越教育大学)

座長 五十嵐 洋貴

- C01 9:10-9:30 乾燥ウミホタルのミトコンドリア遺伝子のPCR実験
○永井 美帆・安川 洋生(岩手大学教育学部)
- C02 9:30-9:50 身近な生活や社会を支えていることを体感できる中学校科学技術教育の実践研究
○岩崎 利勝(高岡市立中田中学校)
- C03 9:50-10:10 Online授業の次に来るもの
○渡辺 信(生涯学習数学研究所)・青木 孝子(東海大学)
- C04 10:10-10:30 プログラミング・ツールとしてのSimulinkの教材活用
○猪本 修(兵庫教育大学)

10:30-10:40 休憩

座長 菅家 佑介

- C05 10:40-11:00 プログラミング体験を組み込んだ小学校理科学習に関する一考察－防災の視点を取り入れた文脈的問題解決の実践を通して－
○小牧 啓介(都城市立大王小学校)・中山 迅(宮崎大学)
- C06 11:00-11:20 小学校社会科におけるプログラミング的思考の観点を取り入れた授業実践に関する研究
○西川 彩香(上越教育大学教職大学院)・榊原 範久(上越教育大学)